

人がつながり、支え合い、チャレンジし続ける
東部まちづくり

Action Plan



2025年度～2027年度



発行 小牧市

あなたは、
東部地域、
好きですか？

私はこのマチ好きだけど
私のことも達は
ここにずっと住んでくれるかな？



最近
高齢化が急速に進んでる
気がする・・・



最近まちに活気がなくなった
気がしない？

多様な人々が生活する小牧の東部地域。

ここで生まれた人、

将来に希望を描いてやってきた人、

様々な人生がここで生まれ、

マチと共に歩んできました。

そんな東部地域が今、

たくさんの課題を抱え、悩んでいます。

2022年3月に策定された「東部振興構想」は、

課題を希望に変えるための指針です。

ここに、あなたの「好き」を足してあげたら、

このマチは、もっと素敵になるはず。

みんなで協力して取り組む
東部地域のまちづくりに
参加してみませんか。

一緒にまちづくりやってみない？



一回やってみようかな

地域の課題は、みんなの課題

まちづくりを自分ごととして捉えることが必要。

だけど、まちづくりって少し面倒。

でも、こんな人口減少が進む時代だからこそ

人のつながりが大事で、人とつながることは

うれしいこと、楽しいこと。

そんな時代に東部地域で進める取組を

まとめたのがこのAction Plan。

こんな取組に参加したいと思う人を

増やすため、このAction Planを作成しました。

目次

プロローグ・・・・・・・・・・・・・・・・ P1

アクションプランと
リーディングプロジェクトって何？・・・・ P6

東部振興構想とアクションプランの関係・・・・ P7

東部まちづくりの進め方・・・・・・・・ P11

リーディングプロジェクト・・・・・・・・ P13

その他の新たな取組一覧・・・・・・・・ P37

実施中の取組一覧・・・・・・・・ P39

東部まちづくりの進捗確認・・・・・・・・ P57



アクションプランと リーディングプロジェクトって何？

東部地域のまちづくりの
取組を見える化したものです。



- Action Planとは、
東部振興構想(2022年度～2031年度)
に基づき、今後、3カ年の取組を毎年まとめるものです。
- Leading Projectは、大きくわけ2つのカテゴリーに分けられます。
 - アルファベット表記のリーディングプロジェクト
まちづくりの仕組みづくりや各活動を支援する制度です。
 - 数字表記のリーディングプロジェクト
東部地域で関係者(住民、事業者、団体、学校など)とともに、
新たに実施する取組のほか、これまでの取組を組合せ、
プロジェクトとしたものです。

東部地域では、これまで様々な取組が行わ
れています。

そんな取組みや新たに進める取組などを
多くの人に知ってもらい、
参加してもらいたくて、
リーディングプロジェクトを見える化します。





東部振興構想とアクションプランの関係

東部振興構想

〈本編〉

東部地域の将来像(Ⅲ章)

東部地域が目指す姿

↑
ビジョン(Ⅳ章)

様々な人達が東部地域に関係できるための取組の基軸

取組方針(Ⅴ章)

計画の推進(Ⅵ章)

まちづくりの取組を実行するための方策等

〈別編〉アクションプラン

リーディングプロジェクト

実施中の取組

その他の新たな取組

●東部振興構想の中間見直し

東部振興構想は、期間の中間(5年)で見直すこととしています。東部地域の現状の調査・分析及びこれまでの取組実績の効果・検証を2025年度から進め、2026年度には、取組方針を中心に実情に沿った計画へ見直します。

※東部振興構想の体系は9・10ページにあります。



アクションプランと東部振興構想って、なにがちがうの？



構想は、まちを良くするための「行動のみちしるべ」、アクションプランは、「行動のみちしるべ」に沿って進められる取組をまとめたものだよ。



へ～そうなんだ。でも、アクションプランって具体的にどんなことがまとめられているのかな??



アクションプランは、「リーディングプロジェクト」や「実施中の取組」、「その他の新たな取組」から成る市が毎年策定する3カ年のローリング計画だよ。



なるほど！これをみれば、今、東部地域で、どんなことが進められているかわかるってことだね！！

東部振興構想の体系

●まちづくり5原則〈Ⅲ章〉

一体性	東部地域一体でのまちづくり
自立性	地域住民による自立したまちづくり
多 様 性 ・ 活 用 性	多様な地域資源を連携・活用したまちづくり

将来像〈Ⅲ章〉

“
人
が
つ
な
が
り
、
支
え
合
い
、
チ
ャ
レ
ン
ジ
し
続
け
る
ま
ち
”
（豊かな自然、快適な住環境と多様な産業が共存するまちづくり）

ヴィジョン〈Ⅳ章〉

1. 多様な人が暮らし続けられるまち
《対象：居住者》
2. 多様な職業が共存し、持続できるまち
《対象：就業者》
3. 訪れたくなる、住みたくなる魅力のあるまち
《対象：来訪者・転入者》

取組方針〈Ⅴ章〉

高齢者	①高齢者が安心して暮らせる環境の整備
子育て世代	②子育て世代にとって魅力ある環境の整備
次世代	③若者が東部地域に愛着を持てる環境の整備
交流	④世代・国籍を越えた住民交流の促進
都市インフラ	⑤都市インフラの有効活用
農業・商工業	①地域の生業が持続・活性化 する環境の整備
新規ビジネス	②新しいビジネスの創出
地域資源	①地域資源の保全、魅力向上 及び発信の強化
住まい	②若年世代も住みたくなる 住まいの創出
住民活動	③ウェルカムなまちの雰囲気 の創出

計画の推進（Ⅵ章）	まちを育む体制の構築
産学官民	方向① 人と人がつながる 仕組みの構築
地域経営	方向② 地域活動の自立性や持続性を 担保する地域経営の取り組み

柔軟性・可変性

柔軟性・可変性を持ったまちづくり

将来性

チャレンジをサポートするまちづくり

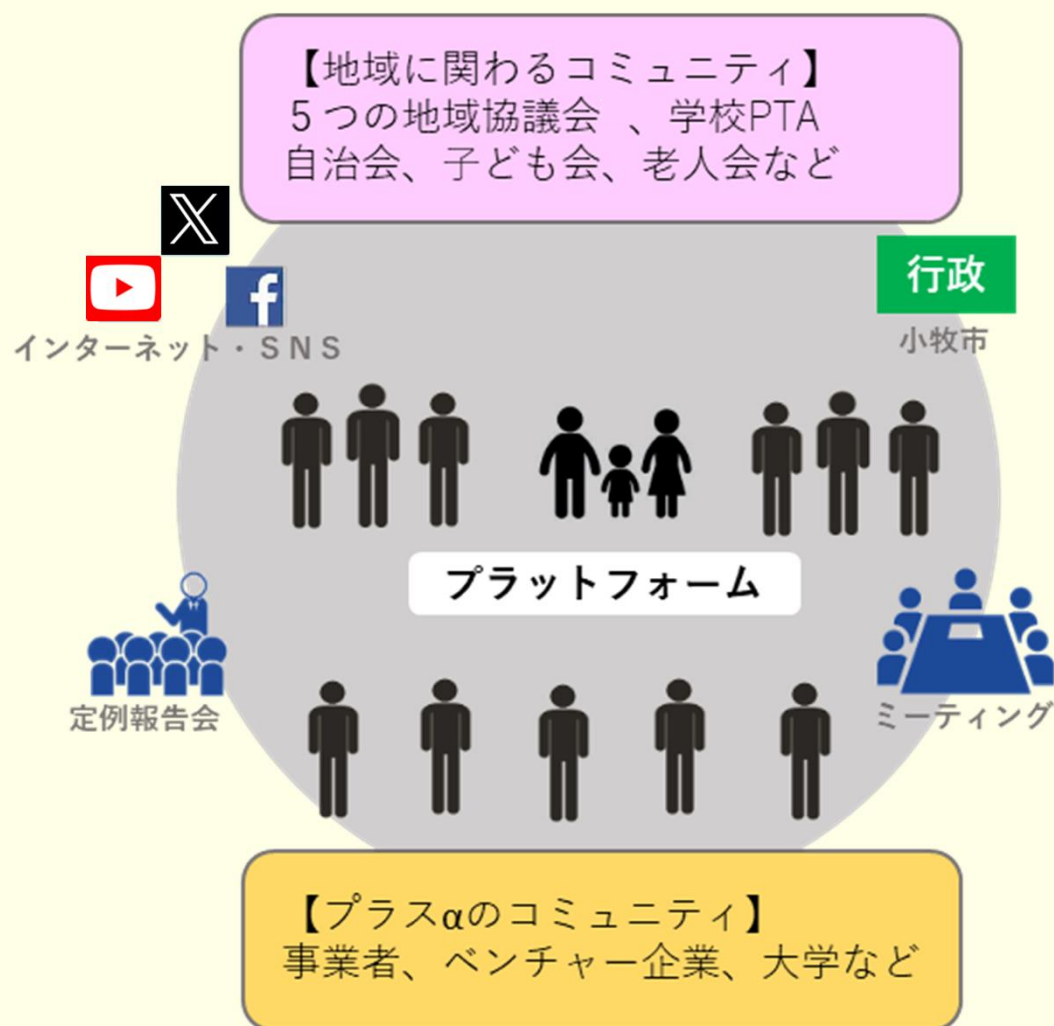
取組の方向（内容）〈Ⅴ章〉

1. 支え合い等による日常生活の利便性の向上
2. 高齢者のいきがい・居場所づくり
1. 地域一体での子育ての仕組みの構築
2. 多様な働き方ができる環境の整備
1. 地域の知り合いづくりの機会の創出
2. 地域を学ぶ（知る）・参加・提案する機会の創出
1. 世代を越えた住民の交流機会の創出
2. 外国人・日本人住民の交流機会の創出
1. 公共空間の活用の促進
2. 先進技術を活用した地域内移動の確保
1. 農家を支え、発展させる仕組みの構築
2. 商工業を支える仕組みの構築
3. 農・商・工・福の連携の促進
1. ソーシャルビジネスの活動促進
2. チャレンジしたい起業家などの活動促進
1. 地域資源を活用した新たな魅力の創出
2. 公園・緑道等を活用した魅力の発信
3. 時代にあった地域魅力の発信
1. 既存住宅を活用した新たな住宅供給
2. 安全・安心な住環境の整備
1. 新たな住民の受け入れ体制・雰囲気づくり
2. 新たな住民を呼び込む活動の創出
1. プラットフォームの構築
2. 中間支援組織の活用・育成
1. 好循環の地域経済の仕組みの構築
2. スタートアップ支援



東部まちづくりの進め方

東部まちづくりプラットフォーム



※東部まちづくりプラットフォーム登録者数
 令和6年度 127人（令和7年2月末時点）
 令和5年度 109人
 令和4年度 75人



東部まちづくりってどんなまちづくり
を目指しているの??



今後の東部まちづくりは、地域住民を
はじめ、事業者、教育機関、行政など
がつながり、支え合い、チャレンジし
続けるまちを目指しているよ。
そのためにも、構想やこのアクション
プランを多くの人に知ってもらうこと
が大切なんだよね。



へ～そうなんだ。
でも、地域住民や事業者、教育機関が
つながる場ってなかなかないよね。ど
うつながっていくのかな??



東部まちづくりに興味のある人、誰で
も集える場として、東部まちづくりプ
ラットフォームっていう、いろんな人
と対面はもちろん、インターネットや
SNSなど様々なものでつながれ、交流
できる場をつくらうとしているんだよ。



なるほど！
まずは、構想やアクションプランを広
く知ってもらい、この東部まちづくり
プラットフォームに参加する人を増や
していくことが大切なんだね。



リーディングプロジェクト

LEADING

A

人と人がつながるプロジェクト
【市(東部まちづくり推進室)】

PROJECT

東部まちづくりプラットフォームの目的である
「人のつながる場」を創出します。
2022年度にスタートしたトライアル活動の
「仲間増やし」や「企画のブラッシュアップ」に
加え、東部振興構想に寄与する
新たなトライアル活動の創出を目的に
ワークショップを開催します。

⇒詳細は
21、22ページへ



LEADING

B

まずはやってみようプロジェクト
(トライアル活動支援制度)
【市(東部まちづくり推進室)】

PROJECT

人と人がつながるプロジェクトで、
具体化したアイデアや
東部地域に関わる方が
自発的に提案する新たな取組、
既存の取組をさらにブラッシュアップした取組
を行政に提案し、実際にトライアルしてみます。



小牧市東部地域のために
活動してみようかな!?
気軽にやってみたいな!?

⇒詳細は
23、24ページへ

LEADING

C

東部地域まちづくり活動パートナーシップ制度
【市(東部まちづくり推進室)】

PROJECT

東部地域のまちづくり活動が、持続的かつ自立する活動となっていくよう、地域の事業者等が、東部地域まちづくり活動を支援しやすい環境を構築することで、まちづくり活動が円滑に進む制度を構築しました。

⇒詳細は
25、26ページへ



LEADING

I

こどもマルシェ
【こどもマルシェ実行委員会】

自立1年目

PROJECT

- ①こどもの社会体験の機会創出
 - ②育児を頑張るママ・パパへの癒しの提供
 - ③子育て世代が交流できる場の創出
- を目的にこどもマルシェを開催します。

⇒詳細は
27、28ページへ



LEADING

2

あおぞら市場 in 緑道 【桃ヶ丘小学校区地域協議会】

自立1年目

PROJECT

- ①地域の農家さんと地域住民の交流促進
 - ②地産地消の推進
 - ③高齢者の買い物支援
- を目的に桃花台ニュータウンの充実した緑道を使用したあおぞら市場を開催します。

⇒詳細は
29、30ページへ



LEADING

3

小牧市東部の特産品 「地産地消プラットフォーム」 【こまき地産地ショープロジェクト】

自立1年目

PROJECT

東部地域における地産地消の促進や食を中心に多様な人が交流できる場の創出のため、インターネット上にプラットフォームの運営を行うとともにoff-lineでの料理イベントを開催します。

⇒詳細は
31、32ページへ



LEADING

4

Waibeeeeマルシェ 【Waibeeeeマルシェ】

3年目

PROJECT

桃花台線旧車両基地用地などの未利用地を活用し、キッチンカーなどの出店者を募り、東部地域の賑わいを創出します。

⇒詳細は
33、34ページへ



LEADING

5

リユースバスケット 【リユースバスケット実行委員会】

2年目

PROJECT

- ①空き家の利活用の提唱・促進
- ②地域住民の集まる場の提供
- ③若い世代、子育て世代、多世代交流の創出を目的に、空き家を活用したイベントの開催や地域の居場所を創出します。

⇒詳細は
35、36ページへ



プロジェクトが目指す成果

顔見知りを増やすことで、多様な人が地域活動、まちづくりに参加し、いろいろな取組のアイデアが議論され、行動の起点の場がつくられている。

プロジェクトの概要

いろんな人とつながろう！！

東部地域には、高齢者、子育て世代、こどもも住んでいて、外国人もいます。

さらには、事業所もあれば、大学もあります。

顔見知りを増やすことで、自分だけでは達成できない課題でも、みんなで協力すれば達成できるかもしれない。

そんな人と人がつながれる場を、まずは行政が設定します。



地域の人のために
マルシェみたいなことが
できないかな



WSへ児童・生徒・学生の参加
先生・教授からのアドバイス

WSへの参加
取組の企画

市民(住民、NPO)

学校

WS

行政

WSの運営
メンバー募集

WSへ社員の参加
取組へのバックアップ

事業者

注:WS=ワークショップ

プロジェクトのプロセス

STEP1 もっと多くの人と交わろう

まちにはもっとたくさんの人がいて、いろんな意見を持っている人がいます。新たなメンバーも加えて東部地域の中でどんなことができたらいいか、考えます。また、既存の取組をよりよいものとする検討を行います。

STEP2 自分たちがやって楽しい企画を考えよう

STEP1で考えた企画を、実際に自分たちで行う場合、どこまでなら負担なくできるか、活動が続けられるか、費用面も含め、検討します。

ここでのポイントは、「無理しない」、「楽しんでやる」です。継続していくには、とても大切なことです。



このくらいの活動なら
楽しく、無理なくできるかも

STEP3 アイディアを磨き、企画のまとめ

何を、いつ、どこで、誰と、どんなふうにするか。その準備にどのくらい時間が必要か。スケジュールを立てながら、みんなで無理なくできる企画提案をまとめます。必要に応じて、市の補助金の申請手続きを進めます。

LEADING PROJECT B

まずはやってみようプロジェクト (トライアル活動支援制度)

プロジェクトが目指す成果

地域の住民や企業、大学、行政などが協力して、
チャレンジしている！！

プロジェクトの概要

失敗をおそれず、やってみる！！

リーディングプロジェクトAで具体化されたアイデアや
東部地域に関わる方が自発的に提案する新たな取組、
既存の取組をさらにブラッシュアップした取組を
市に提案し、実際にトライアルしてみます。
提案された取組で、東部振興構想に合致する場合、
認定支援と補助金支援の2種類でプロジェクトを
サポートします。活動が円滑に進められるよう、
市からの支援も活用し、無理なくトライしてみます。

【認定支援】公共施設の減免利用が可能

【補助金支援】認定支援に加え、

補助金上限20万円(初年度)

上限10万円(2年度)

トライアルへの参加
先生・教授からのアドバイス

トライアルの
運営・報告

市民(住民、NPO)

学校

トライ
アル

行政

フィールド提供
規制緩和等・財政支援

トライアルへの参加
バックアップ

企業



無理せず
やれる範囲から進めましょう
まずはやってみましょう

東部振興構想の位置づけ

計画の推進 ①-1

計画の推進 ②-1、2

※トライアル活動実績
令和6年度 11取組
令和5年度 7取組
令和4年度 6取組

プロジェクトのプロセス

STEP1 企画提案をしよう

スケジュールに無理はないか、かかる費用
は妥当なのか、確認したうえで、企画提案を申請書に
まとめ、市に提出します。
市の審査を受け、プロジェクト認定を受けます。

STEP2 まずはやってみよう

STEP1で立てた企画を、実際にやってみます。
実施にあたっては、みんなで協力し(役割分担)、
地域の声も聞き(交流)ながら進めます。
また、やって「おしまい」とならないよう、イベント等に参加
してくれた方々の感想をフィードバックしたり、次の取組に
必要なお金を「稼ぐ」という仕組みづくりも併せて考えます。

STEP3 振り返ってみよう

やってみた企画の良かったところ(Keep)、
悪かったところ(Problem)、
次はこうしてみたい！(Try)
について、整理し、報告会
での発表や実施報告書の
作成を経て、持続的な活動
のためには何が必要か振り返ります(Check)。



プロジェクトが目指す成果

東部地域で進められるまちづくり活動を
様々な人たちのつながりで進められている。

プロジェクトの概要

地域を活性化していくうえで、
まちづくり活動団体等、事業者等、
行政が抱える課題は様々です。
それぞれの課題を、それぞれが支え合える制度です。



東部地域で進められるまちづくり活動を
事業者など様々な人たちが、
技術面や物資面、資金面などの支援により、円滑に進めれるよう、
各々の特性を活かした仕組みを構築しました。

活動団体等

- 地域活動をはじめたい、
継続していきたいけど、
活動資金が足りない
- 企業寄付を募りたいけど、
営業訪問に時間をさけない

地域活動の主体

行政（市）

- 行政資金（補助金）は、年
度に縛られること、使用用
途に制限があるなど自由度
が低い
- 行政資金（税金）は、人口
減少等の影響から今後、減
少していくことが予想され
る→限りがある

マッチング機能

事業者等

- 技術（ノウハウ）・労力等はあ
るものの、地域貢献につな
がっていない
- 地域が何を求めているのか
わからない

技術・物資・資金等貢献

プロジェクトのプロセス

STEP1

まちづくり活動団体等が活動を登録
事業者等が支援内容を申出

東部振興構想に寄与するまちづくり活動を「東部地域まち
づくり活動パートナーシップ制度」に登録し、市ホームペー
ジで、事業者等にまちづくり活動をPRします。
また、事業者等は支援内容を事前に申出することもでき、
円滑にマッチングを進めます。

STEP2

事業者等は支援したいまちづくり活動
を検討

事業者等やまちづくり活動団体等は支援したい活動や受け
たい支援があれば、行政（市）にマッチングの申込をします。
その後、対面で顔を合わせ、支援の決定を行います。

STEP3

事業者等からの支援

事業者等は応援したい活動へ
技術面や物資面、資金面等で、
直接、まちづくり活動を支援します。
その後、支援したことを
市に報告します。
市は、事業者等が
支援したことを
市ホームページで、
市民等へ広く周知します。



プロジェクトが目指す成果

こどもも、おとなも、みんな笑顔で、
こどもを中心に地域を元気にする輪が広がっています。

プロジェクトの概要

東部地域の様々なエリアで
こどもマルシェが広がり、みんなが笑顔



- ①こどもに社会体験をしてほしい
 - ②子育てに疲れたママ・パパに癒しを提供したい
 - ③子育て世代の交流の場を創出したい
- そんな想いで活動を継続させています。
これからも継続して活動ができるよう、
地元事業者や取組に賛同していただける方
から協力いただけるよう、つながり・連携を
強化していきます。

こどもを中心に
つながれる
マルシェって
いい発想だね



運営補助・PR支援

地域協議会

企画・運営

こどもマルシェ実行委員会

こども
マルシェ

出店・運営補助・協賛

各種団体・事業者

行政

相談・支援

プロジェクトのプロセス

STEP1 持続性を意識した企画を検討します。

東部地域まちづくりパートナーシップ制度を活用しながら
資金調達をはじめ、こどもマルシェの開催に必要な
人材の確保など持続的なプロジェクトとなるよう企画
を考えます。

STEP2 みんなで準備します。

ミーティングを重ね、役割分担を行い、
出店者の募集、開催のPRなど、
こどもが出店してよかった、
楽しかったと思ってもらえるよう、
入念な準備を行います。



STEP3 こどもマルシェを開催します。

こどもマルシェ実行委員会が、児童館や地域協議会など
様々な人と協力しながら、こどもを中心に、みんなが笑顔
になれる「こどもマルシェ」を実践します。
開催後、収支をまとめ、協賛企業へ
結果を報告します。
そして、次年度以降の出店料や
規模の検討を行います。



プロジェクトが目指す成果

地域の農家と地域住民が連携・協力して
生活支援にもつながる交流の場を創出しています。

プロジェクトの概要

桃花台ニュータウンの緑道を使って、
軽トラ市を開きます。



- ①地域の農家と地域住民の交流促進
- ②地産地消の促進
- ③高齢者の買い物支援

そんな3つ視点で活動しています。

22年は1回、23年以降は2回と回数を増やしながら
実施しています。参加者同士の交流ができるよう
会館を休憩所として開放しています。

開催時期も含め、出店してもらった農家さんが
出店しやすい環境であったり、農家さんに限らず、
もっと多様な人が出店できる環境づくりを進めていきます。



出店・出店者のとりまとめ

農家・JA尾張中央

企画・運営

地域協議会

あおぞら
市場

行政

相談・支援

地域の交流促進
地産地消の促進

事業者・住民

プロジェクトのプロセス

STEP1

JA尾張中央、地域の農家と
連携を深めます

これまでに実施したあおぞら市場には、多くの地域住民が
足を運び、定期開催を望んでいます。
継続的な開催に向け、JA尾張中央や地域農家さんとの絆
を深め、出店いただける農家を増やします。

STEP2

地域住民も出店できる企画

地域の農家さんだけでなく、家庭菜園をする地域住民、
キッチンカーの出店、外国籍の人の出店など
多様な人が出店したくなるあおぞら市場をめざすため、
野菜のみならず、様々なお店の出店や、こどもが来たく
なる催しなど様々な企画を検討します。

STEP3

あおぞら市場を開きます

多くの地域住民の交流の場とするため、効果的な周知方
法を検討するとともに、広くPR活動を行います。
また、JA尾張中央、出店者など
と当日の役割分担をしたうえで、
あおぞら市場を開催します。

地域に定着した市場となるよう継続
して実施します。



LEADING PROJECT 3 小牧市東部の特産品 「地産地消プラットフォーム」

自立1年目

プロジェクトが目指す成果

食を通して地域住民等の交流がなされ、地産地消の促進につながっています。

プロジェクトの概要

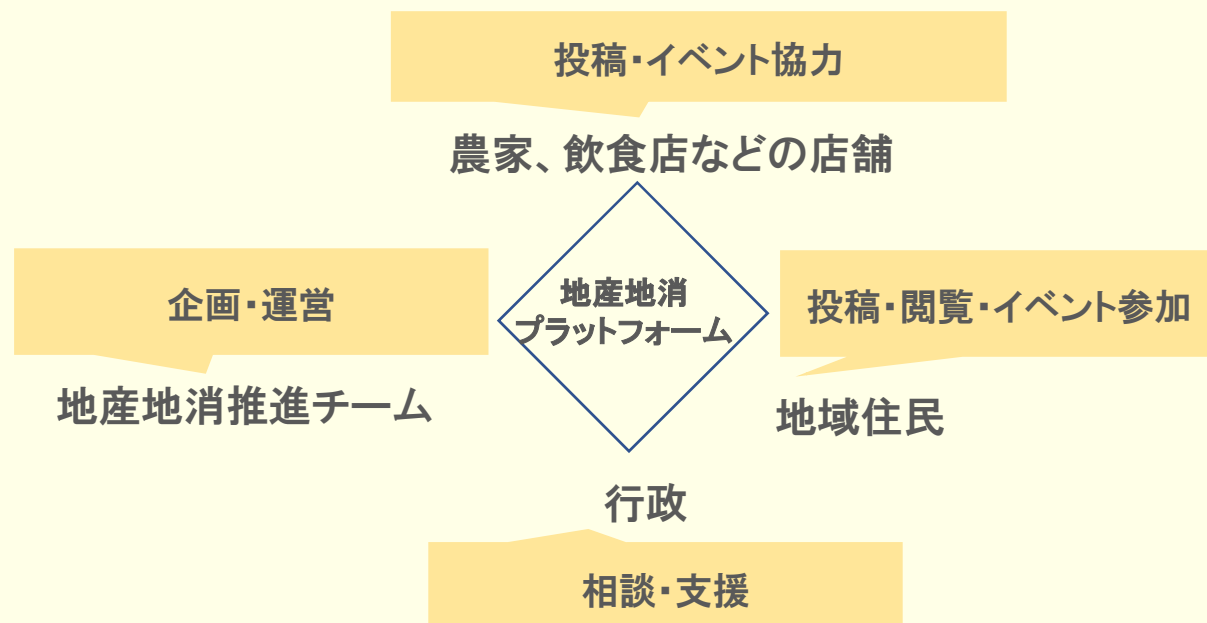
Facebookグループ機能を活用し、地産地消プラットフォームを構築し、食を通して地域住民等の交流を促すことにより、地産地消を推進します。



2023年1月24日にオープンした「地産地消プラットフォーム」内で、様々な人が東部地域産の食材を使ったレシピ、メニュー、商品を投稿します。

これらの投稿されたレシピ等をもとに、コメント機能で地域交流を図ります。

また、実際に会って交流するイベントも開催し、オンライン、オフラインと様々な交流機会を創出します。



東部振興構想の位置づけ

ビジョン1 ④ー1、2

ビジョン2 ①ー1、3

プロジェクトのプロセス

STEP1 企業協賛を募ります。

地産地消プラットフォームへ参加してもらえる地域住民や、農家、飲食店などを増やすため、「地産地消プラットフォーム」を広く周知します。また、持続可能なプロジェクトとするため、東部地域まちづくり活動パートナーシップ制度を活用しながら、企業の応援が得られるよう働きかけをしていきます。

STEP2 オンラインでの交流

オンライン上の地産地消プラットフォームで、レシピ、メニュー、商品などの投稿を促します。
例えば、農家さんと協力して、農家さんならではのレシピや調理・保存のちょいテクなどの紹介を企画しています。

STEP3 オフラインでの交流

オフラインでは、実際に対面で会って交流することを目的に、料理づくりイベントなどを開催します。

調理系クラブと協力し、地産地消クッキングを開いたり、地元食材で外国料理をつくるイベントなど、食をキーワードにしたイベントを開催します。開催後は、結果をふりかえり、次年度の活動内容を検討します。



プロジェクトが目指す成果

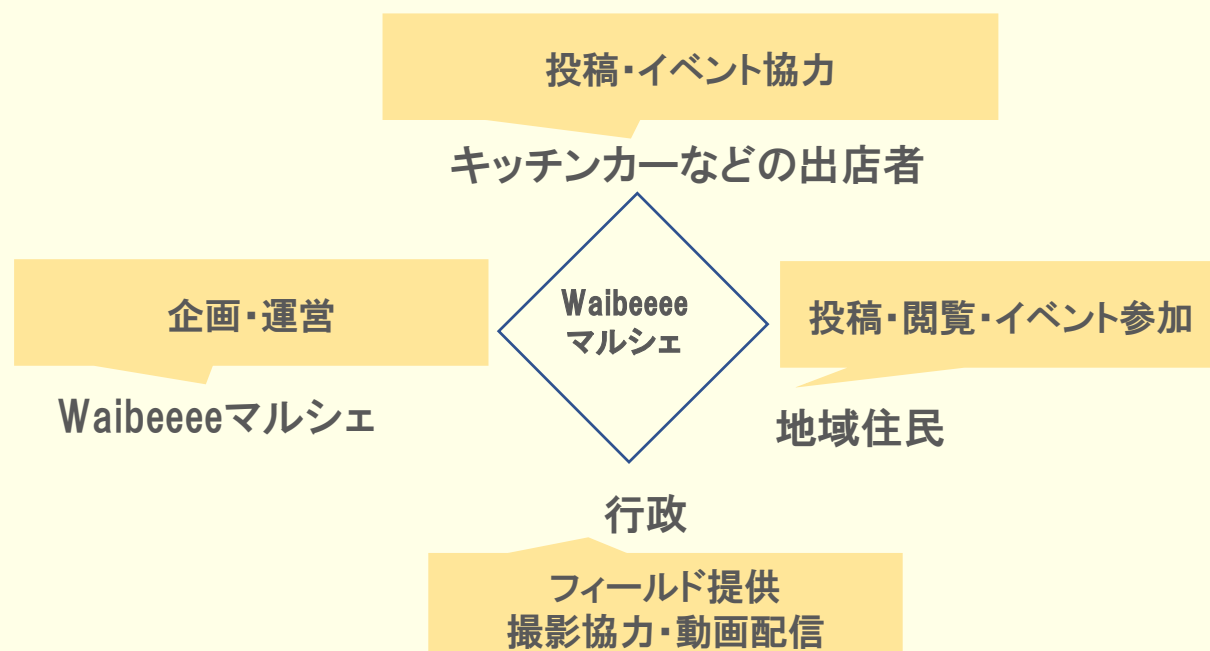
未利用地等をつかって、新たな賑わいが創出され、まちが活気あふれています。

プロジェクトの概要

桃花台線旧車両基地用地などの未利用地等の新たな活用方法として、キッチンカーや物販などの店舗を集め、東部地域の賑わいを創出します。



桃花台線旧車両基地用地の利活用として、キッチンカーやブース出店のお店を1日あたり30店舗以上が出展するイベントを開催。東部地域の特産である名古屋コーチンの商品を販売や、地元の物販出店者を募るなど、地域と絡めたイベントを企画します。飲食店の少ないこの地域。キッチンカーなどのお店が飲食店の代わりとなるよう夜間営業や定期開催などの検討を進めます。



プロジェクトのプロセス

STEP1 企画の検討をします。

この東部地域の住民にとって、よりよいイベントとするには、どうしたらよいか検討をします。
例えば、夜間の開催であったり、平日の開催であったり、定期的な開催であったり、どれが受け入れられるか、求められているのか、考えながら企画立案をします。

STEP2 事前準備を入念に行います。

これまでの開催で得たノウハウや課題を考慮した事前準備を進めるとともに、新たな展開に備え、様々なシチュエーションを考え、周辺地域住民への開催理解を得たうえで、出店者募集、開催PR、配置検討、各種手続きなどを進めます。

STEP3 イベントの開催

地域の人から求められるイベントとなるよう、持続的なイベントとなるよう、安全、安心で楽しいマルシェを開催します。食を通じて、地域に賑わいを創出し、東部地域を盛り上げます。



プロジェクトが目指す成果

地域の集まり場を創出し、にぎわいや住民交流が広がっています。

プロジェクトの概要

①空き家の利活用の提唱・促進

②地域の集まる場の提供

③若い世代、子育て世代、多世代交流の創出

を目的に、他地域に比べて空き家棟数が多い東部地域において、空き家を活用したイベントの開催することで、地域の居場所となることを目指すことと、併せて空き家の活用方法を参加者へ提案します。

メンバーのできることを活かして、地域を学ぶワークショップや子育て世代向けのイベント等、多様なテーマのイベントを開催することで、団体の認知度向上を図ります。

イベント時に東部地域の空き家の実態を参加者へ周知し、空き家活用の実績を示すことで、空き家活用する方の増加を目指します。



投稿・イベント協力

地元出店者

企画・運営

リユース
バスケット

投稿・閲覧・イベント参加

リユースバスケット実行委員会

地域住民

行政

フィールド提供
撮影協力・動画配信

プロジェクトのプロセス

STEP1

企画・開催場所の検討をします。

東部地域の空き家の実態をメンバーが理解し、空き家所有者のニーズを確認します。

また、イベントや居場所となる場所探しや、開催する回数や休日開催、平日開催、どれが参加されやすいのか、考えながら企画立案をします。

STEP2

事前準備を入念に行います。

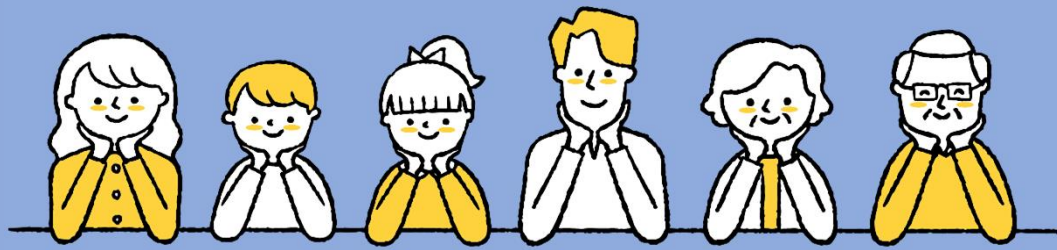
ミーティングを重ね、開催に向け、役割分担を行い、出店者の募集、イベントの開催周知など、入念な準備を行います。

STEP3

イベントの開催

地域住民の居場所となり、多世代交流ができ、地域の知り合いを増やすイベントを開催します。
東部地域について学ぶまちあるきや、アートワークショップ、こども服やランドセルの交換会等といった多様なテーマを掛け合わせたイベントを開催します。





その他の新たな取組一覧

ビジョン

1

取組方針③ 次世代

取組名	実施主体	取組内容
NEW 高校生等社会参画事業	小牧市	高校生等が身近な課題や関心事についてプロジェクトを立ち上げ、意見表明や社会参画を通して地域や社会に主体的に関わる意識を育む。

〈参考指標〉
次世代が参加するプロジェクト数
(まちづくりのプロジェクト数) : 3件 (目指す方向 ↗)

ビジョン

3

取組方針① 地域資源

取組名	実施主体	取組内容
NEW 市民四季の森イベント開催事業	小牧市	令和7年度の「バラ・アジサイまつり」第20回開催を契機に、好評だった内容を継承しつつ、開催時期を分散させた新たなイベントを開始する。

〈参考指標〉
市のホームページ（東部まちづくりニュースのページ） : 3,293件
の年間アクセス件数 (目指す方向 ↗)



実施中の取組一覧

ビジョン

1

取組方針① 高齢者

〈参考指標〉
生きがいを持って暮らしている
65歳以上の住民の割合：80.9%（目指す方向 ↗ ）

取組名	実施主体	取組内容
支え合いいきいき ポイント推進事業	小牧市	地域での支え合い活動に協力した場合にポイントを付与し、そのポイントを市内限定商品券で還元する。
こまき巡回バス「こまくる」 運行事業	小牧市	公共交通による市民の移動手段の確保を目的としてこまき巡回バス「こまくる」の運行を継続して行うとともに、令和8年4月に予定している再編の検討を進める。
高齢者外出支援事業	小牧市	高齢者の外出支援として、要介護1以上の方に行き先を限定しない一般タクシーの初乗料金分の利用券を交付する。また、要介護3以上の方に行き先を医療機関などに限定したリフト付きタクシー等料金の一部を助成することで、高齢者の外出支援を行う。
おたすけ隊	篠岡学区地域協議会 大城小学校学区地域協議会	不安や困りごとを抱えた高齢者を地域全体で支え、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように、地域の高齢者のちょっとした困りごと支援を行う活動。
食料品等の移動販売支援	ローソンストア100 マックスバリュ東海(株)	買い物に不便を感じている高齢者などを対象に移動販売車による食料品、生活必需品等の販売を行う。
高齢者デジタルサポート事業	小牧市	情報格差(デジタルデバйд)の解消に向けて、スマホ教室・スマホ相談会等の取組を実施する。東部地域では、東部市民センターにて開催。
高齢者移動支援事業	NPO法人生活支援 サービス・ラポール	高齢者や障がいのある方に対し、生活支援に関する事業を行い、住み慣れた地域での生活に係る問題の改善や解決を図り、安全な暮らしの向上と支え合いの地域づくりの増進に寄与することを目的に、福祉有償運送、生活の困り事支援、医療、介護等に係る相談等を実施。

取組名	実施主体	取組内容
認知症カフェ	陶小学校区地域協議会 篠岡地域包括支援センター	認知症の方やご家族・地域住民・専門職が集い、お茶を飲みながら認知症や介護のことなどを気軽に話せる、相談できる取組を実施。
サロン活動	陶小学校区地域協議会 桃ヶ丘小学校区地域協議会	中高年の憩いや集いの場を提供している。
ウォーキング事業	篠岡学区地域協議会 光ヶ丘小学校区地域協議会	住民同士の交流、健康増進、まちの魅力再発見を目的として、定期的に開催している。
スマホ初心者使い方相談会	大城小学校区地域協議会	事前予約制でスマートフォンの使い方についての個別相談会を年2回開催している。

取組名	実施主体	取組内容
学習支援事業「駒来塾」	小牧市	学力の定着が進んでいない中学生を対象に、ボランティアなどによる学習支援活動を実施する。東部地域では、東部市民センターにて開催。
放課後子ども総合プラン 運営事業	小牧市	国が示している放課後子ども総合プラン(児童クラブと放課後子ども教室の一体型整備)を実施し、多様な活動プログラムに参加できる機会を提供する。
児童館管理運営事業	小牧市	児童福祉法に規定されている児童福祉施設である児童館の管理運営。東部地域には、篠岡児童館と大城児童館が整備されており、指定管理者制度にて運営を実施。
保育料無償化拡充事業	小牧市	子育て世代の負担軽減を図るため、認可保育施設を利用する0歳児から2歳児までの保育料の無償化を市独自に拡充する。
移動子育て支援	小牧市	こどもと遊びながらママ同士の友達づくりのきっかけ、困っていること、不安なことを相談できる場として、保育士がおもちゃを持って、年間3回ずつ各会館を巡回。東部地域では、上末会館を巡回。
大城児童クラブ運営委託事業 (児童クラブ運営事業)	小牧市	児童クラブの質の向上と支援員の確保及び職員の事務負担軽減を図るため、大城児童クラブの運営業務委託を実施する。

取組名	実施主体	取組内容
こども食堂支援事業	小牧市	こどもの孤立・孤食を防止し、こどもが安心して過ごせる居場所を提供するこども食堂の運営を支援し、あわせて、こどもを行政等の支援に繋げるため、児童館と連携して実施する「こども食堂」に対し、運営費の一部を補助する。
通学路パトロールボランティア	小牧市	こどもたちが犯罪に巻き込まれないよう保護者や地域住民が下校時刻を中心として通学路の危険箇所等をパトロールして、こどもたちの通学時の安全を確保している。

ビジョン

I

取組方針③ 次世代

〈参考指標〉

次世代が参加するプロジェクト数

（まちづくりのプロジェクト数）： 3件 （目指す方向 ↗ ）

取組名	実施主体	取組内容
地域3あい事業	市民	地区の集会所などを活用したふれあい活動や学びあいを通し、地域ぐるみで子育てに関わり、お年寄りを支えることができる「ふれあい・学びあい・支えあい」の地域づくりを実施。
まちづくりスクールミーティング	小牧市	中学生と高校生の参加により実施し、グループワーク等を通して主体的に「まちづくり」について考えるきっかけとし、社会性を育むことを目的に実施。
特色ある学校づくり推進事業	小牧市	教科横断的な視点に立ったカリキュラム編成により従来の総合的な学習を一層充実させ、こまき「夢☆チャレンジ」科として「こども夢・チャレンジNo.1都市」の基本理念に則った、より発展的で持続可能な「探究的な学び」を推進する。

ビジョン

I

取組方針④ 交流

〈参考指標〉

プラットフォームによる交流イベント回数：10回（目指す方向 ↗ ）

取組名	実施主体	取組内容
日本語教室	小牧市国際交流協会（KIA）	地域在住の外国人を対象に日常生活に必要な日本語を習得するための講座を開催。
多文化共生ワークショップ	小牧市	日本人市民と外国人市民が、多文化共生の課題について意見交換を行うワークショップを開催。

取組名	実施主体	取組内容
地域こども食堂	市民	下末地区において、「地域で多様な世代が交流できる場所をつくりたい」、「子育て中の親が一息つく場所をつくりたい」と地域住民が交流の場を創出。月1回の頻度で開催する。
日本語塾「手まり塾」	市民	令和元年9月より、土曜日 午後4時から6時で大城児童館にて、外国籍の小中学生に対し、日本語学習をボランティアで実施。
外国籍生徒との座談会	桃ヶ丘小学校区 地域協議会	桃ヶ丘小学校区地域協議会と桃陵中学校の外国にルーツのある生徒が“みんな「地域の人たち」助けあって笑顔で暮らせるために！”を実現するため、座談会を開催。
SUN SUN FESTA	SUN SUN FESTA 実行委員会	桃花台ニュータウン内にある集合住宅サンコート及び城山第3区でのコミュニケーション活性化のため、住民間交流の一環として開催。 核家族化が進む団地内でこどもから高齢者までが集い、まずは顔見知りになることを目的に取組みを推進している。
陶っ子凧あげ大会	陶小学校区地域協議会	親子や親同士の交流を深めるため、陶小学校児童とその親が凧揚げをするイベントを開催している。
もちつき大会	篠岡学区地域協議会	地域のこどもから高齢者まですべての世代の交流のため、もちつき大会を開催している。ついたもちは住民へ配布。
宝さがし オリエンテーリング大会	大城小学校区地域協議会	地域の交流として、大城小学校敷地内や周辺に設置された箱の中のシールをウォーキングしながら集めるイベントを開催している。
ミュージックフェスティバル	光ヶ丘小学校区 地域協議会	学区内の個人や団体などが出演する地域のコンサートを開催している。

利用している地域住民の割合：12.3%（目指す方向 ）

取組名	実施主体	取組内容
(再掲) こまき巡回バス「こまくる」運行事業	小牧市	公共交通による市民の移動手段の確保を目的としてこまき巡回バス「こまくる」の運行を継続して行うとともに、令和8年4月に予定している再編の検討を進める。
公園等の貸し出し (都市公園内行為許可など)	小牧市	地元の行事や市が後援するイベントなどを行う際、公園や緑道などの貸し出しを行っている。
アダプトプログラム	小牧市	市民・事業者がボランティア活動として、道路、公園などの市内の公共施設を愛情と責任をもって清掃活動を行う仕組みとして実施中。
自動運転実証調査事業	小牧市	こまき巡回バス「こまくる」の将来的なサービス水準の維持に向け、懸念される路線バスの運転手不足に対応するため、自動運転実証調査事業を実施。

取組方針① 農業・商工業

〈参考指標〉

農業サポーター制度登録者数：24人（目指す方向 ）

取組名	実施主体	取組内容
(仮称)農業公園整備事業	小牧市	食の大切さを理解する場とするとともに、農業振興の発信の場とするため、(仮称)小牧市農業公園の整備を行う。
小牧ワイナリー	社会福祉法人AJU 自立の家	障がいのある人たちの就労支援の場として、2015年4月にオープン。ワイン事業に取組み、ぶどうの栽培、ワインの生産、加工、販売まで行っている。
モモ栽培サポーター養成講座	JA尾張中央、 地域担い手育成総合支援協議会	モモの生産者の高齢化及び担い手不足の解消、モモの産地維持のため、栽培技術者の養成を栽培現場での実習を通して進めている。
モモ栽培サポータークラブ制度	JA尾張中央、 地域担い手育成総合支援協議会	養成講座受講者に対し、モモ栽培サポータークラブに加入していただき、援農コントラクターとして生産者を支援する取組。
企業新展開支援 プログラム推進事業	小牧市	市内事業者の操業を支援し市内産業の振興を図るため、企業新展開支援プログラムに基づいた補助制度を実施する。
次世代産業推進事業	小牧市	市内次世代産業関連企業の設備導入、販路開拓、インターンシップ受入、人材育成、航空宇宙産業認証にかかる費用の一部を助成する。

取組方針② 新規ビジネス

〈参考指標〉

東部地域における起業・

創業に対する補助件数：6件（目指す方向 ）

取組名	実施主体	取組内容
創業支援セミナー	小牧市、小牧商工会議所、 愛知県信用保証協会	創業・経営に興味のある方などを対象に、創業の基礎知識やビジネスプランの立て方、計画的な資金調達などについて学ぶ創業予定者を支援するセミナーを実施。
(再掲)高齢者移動支援事業	NPO法人生活支援 サービス・ラポール	高齢者や障がいのある方に対して、生活支援に関する事業を行い、住み慣れた地域での生活に係る問題の改善や解決を図り、安全な暮らしの向上と支え合いの地域づくりの増進に寄与することを目的に、福祉有償運送、生活の困り事支援、医療、介護等に係る相談等を実施。

〈参考指標〉

市のホームページ（東部まちづくりニュースのページ）：3,293件
の年間アクセス件数（目指す方向 

取組名	実施主体	取組内容
新たな地域特産物の発掘 《こまきゴールド(桃)》	こまきゴールド生産推進協議会 JA尾張中央	「こまきゴールド」は、小牧市(上末)の桃生産者の桃園で発見された 新品種。平成30年1月に農林水産省に登録を出願。数年間の経過観察を経て変異なく安定して生産できると認定され、令和4年10月に登録された。令和6年6月に初出荷され、新たな地域特産物となることが期待されている。
名古屋コーチンのPR	小牧市、 (一社)小牧市観光協会、 小牧商工会議所	小牧市(池之内)から始まった名古屋コーチンという地域資源を最大限に活用し、「名古屋コーチン発祥の地」として、観光振興・事業振興に取り組んでいる。愛知県内でも減少傾向にある養鶏業者も小牧市では若い後継者により引き継がれている。
都市ブランド戦略	小牧市	市制70周年記念式典においてブランドムービーの放映やブランドロゴ入りトートバッグの配布を行うなど、ブランドをPRするとともに、市民の愛着と誇りの醸成を図る。

取組名	実施主体	取組内容
充実 空き家等対策推進事業	小牧市	空き家等除却工事費補助金については、木造住宅に加え非木造住宅も対象に拡大し、増加する非木造住宅に対応するとともに、引き続き、セミナーや相談会を開催することで、空き等の発生抑制を図る。また、実態に即した対策を進めるため、令和7年度に小牧市空き家等対策計画の中間見直しを実施する。
空き家対策事業 (セミナー・相談会)	桃花台を考える会	「地域に空き家をつくらない」を目的に、地域住民向けに自分の家を将来、空き家にしない方法やポイントなどの内容で我が家の相続セミナー及び個別相談会を実施。
「まちレポこまき」 (インフラの維持管理)	小牧市	道路、緑道、公園などの不具合をLINEにより市民から情報提供してもらう「まちレポこまき」を開設。24時間365日情報提供が可能となり、安全・安心なまちづくりに寄与している。
充実 定住促進事業	小牧市	若年世代の定住促進を図るため、子育てに対する不安や負担の軽減を目的とした三世帯同居・近居住宅の取得等、市内事業所の就業者の住宅取得や中古住宅を取得等した場合に、その費用の一部を助成する。令和7年度からは新婚世帯にスポットを当てるなど、より実効性の高い制度に変更する。また、市内小売店等の振興のため、現金給付から市内限定商品券での給付に変更する。
学区防災訓練	各地域協議会	地域の防災意識や防災力をより一層高め、地域で助け合える体制づくりを目的に訓練を実施。小牧市総合防災訓練として同日開催を実施。
防災備蓄推進事業	光ヶ丘小学校区地域協議会	令和3年度作成した計画に基づき防災物資の備蓄を行うとともに、住民へ個人での備蓄を推進・啓発を行っている。

〈参考指標〉

区や市民活動団体などが開催する活動に過去 1 年間で：29.4%
1 回以上参加したことがある地域住民の割合（目指す方向 ↗）

取組名	実施主体	取組内容
桃花台音楽まつり	桃花台を考える会	地域住民の音楽文化の醸成のため、音楽イベントを年2回開催する。 2回のうち1回は東部地域の住民等による演奏会を検討している。
桃花台音楽講座	桃花台を考える会	東部地域出身のプロピアニスト前田陽一朗氏を講師に招き、音楽文化を醸成するため、東部地域の住民向けに音楽講座を開催する。
(再掲)SUN SUN FESTA	SUN SUN FESTA 実行委員会	桃花台ニュータウン内にある集合住宅サンコート及び城山第3区でのコミュニケーション活性化のため、住民間交流の一環として開催。 核家族化が進む団地内でこどもから高齢者までが集い、まずは顔見知りになることを目的に取組みを推進している。



東部まちづくりの進捗確認

アクションプランの実行

リーディングプロジェクト

実施中の取組

その他の新たな取組

取組方針の
達成度の確認

取組の改善、追加

10の参考指標（高齢者～住民活動） のCheck

まちの状態の把握
まちづくりの方向性の確認

重要業績評価指標（KPI）のCheck

KPI(重要業績評価指標)	基準値 (基準年)	目標値 (令和8年)	目標値 (令和13年)	測定方法
東部地域の生産年齢人口割合 ※15歳～64歳	63.4% (H27)	54.0%	50.7%	国勢調査データを基に算出します。

設定する目標値は、令和8年度については、国勢調査データに基づいた将来人口見通しで示す令和7年推計値53.0%を1%上昇させることとします。
令和13年度については、令和12年推計値48.7%を2%上昇させることとします。

東部地域の将来像の実現



東部まちづくりの進捗状況って
どう把握していくのかな？？



アクションプランは、リーディングプロジェクト、実施中の取組、その他の取組のカテゴリーと併せて、構想に記載するキーワード（取組方針）ごとにも分類されているんだよ。



へ～そうなんだ。
いろいろなカテゴリーに分類されていることはわかったけど、それがどう進捗状況の把握につながるのかな？？



構想には、まちの状態を把握する指標（KPI）と、取組方針（キーワード）ごとに参考指標を設定してあるんだよ。

それぞれ、アクションプランで取組を進めて、構想で定める指標をCheckすることで、まちづくりの進捗状況を把握するんだよ。



なるほど！
構想の指標をCheckして、アクションプランの取組をみて、今後どんな取組が必要なのか、把握していくんだね！！

小牧市民憲章

市制施行30周年

わたくしたち小牧市民は、小牧を

- 1 健康で生きがいのある 明るいまちにしましょう
- 1 感謝と思いやりのある あたたかいまちにしましょう
- 1 緑とやすらぎのある 美しいまちにしましょう
- 1 高い文化と教養のある 豊かなまちにしましょう
- 1 希望と働く喜びのある 活気あふれるまちにしましょう

小牧市民憲章は、市民の道しるべとして、健康で明るい生活を送るため、また、市民一人ひとりの心構えや果たすべき役割を明確化し、心ふれあう豊かな社会を形成するため、小牧市制施行30周年を記念し、昭和60年5月15日に制定されました。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言(要約)

市制施行60周年

私たちは、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援することで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまちになっていくと確信します。

そこで、私たち小牧市民は、

- 一、こどもの夢への挑戦を応援することで元気になるまち
- 一、世代を越えて市民のつながりが生まれるまち
- 一、支え合うことでさらに住みよくなっていくまち

このようなまちの実現に向け、小牧市を「こども夢・チャレンジNo.1都市」とすることを、ここに宣言します。

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言は、小牧市の特徴である「子育て支援が充実している」姿を一層高め、「こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまち」を小牧市全体で目指し、市内外に発信していくため、小牧市制施行60周年を記念し、平成27年5月17日に宣言しました。